



インスピレーションになろう

国際ロータリー会長 BARRY RASSIN (バリー・ラシン)

国際ロータリー第2530地区ガバナー 平井 義郎

福島南ロータリークラブ 会長 吉田 和義 幹事 一條 浩孝
目標「例会を楽しもう」

会員/75名 出席/43名 出席率/57.33%

メークアップ/32名 修正/75名 修正後率/100%

会長挨拶 吉田 和義 会長



本日はロータリー情報委員会主催の「新会員オリエンテーション」「全会員セミナー」に参加の皆様お疲れさまでした。

皆さんは「高校生平和大使」をご存知でしょうか？

1998年5月、核拡散防止条約(NPT)に加盟していないインドとパキスタンが相次いで核実験を強行し、被爆地の市民は核拡散に危機感を募らせました。「ながさき平和大集会」(現在は「高校生平和大使派遣委員会」)に参加する約50の平和団体は、核の惨禍を知る被爆地ヒロシマ・ナガサキの声を世界に伝えるために、未来を担う若者を「高校生平和大使」として国連に派遣することにしました。

1998年から毎年、高校生平和大使はニューヨークの国連本部を訪問し、核兵器廃絶と平和な世界の実現を訴えてきました。2000年第3代からは軍縮会議が開かれるスイス・ジュネーブの国連欧州本部を訪問しています。高校生平和大使は国連では「ヒロシマ・ナガサキ・ピース・メッセンジャー」として認知され、その真剣な言動は国連で高い評価を得て大きな成果をあげています。

2018年6月反核署名を集めて8月スイス・ジュネーブの国連欧州本部へ届ける21代目「高校生平和大使」20名の女子高校生を決定しました。新聞報道でご存知の方も多いと思いますが、この中に桜の聖母学院高校2年生鈴木真宝さんが選ばれました。彼女は成蹊高等学校インター・アクト部顧問鈴木智美先生の娘さんです。「高校生平和大使」は広島・長崎で研修後、8月26日から31日迄スイス国連欧州本部やオーストリアを訪問し核廃絶の思いを伝え、現地の高校生と署名活動を実施しました。

「高校生平和大使」はノーベル平和賞候補とするよう求める国会議員らの推薦状が5月ノーベル賞委員会に受理されています。今年のノーベル平和賞に注目です。

最後に「ロータリーの友」9月号に掲載されております“子ども食堂”に関して成蹊高等学校インターアクトクラブでは毎月2回福島駅東口でお手伝いしております。私共のクラブでどのようなお手伝いができるか今後話し合っていきたいと考えております。素晴らしい人たちが福島には いっぱいお見えになります。支援の輪を広げていきましょう。

青少年奉仕委員会セミナー報告 佐久間 功 副委員長



青少年奉仕委員会の活動には、①インターアクトクラブ、②ローターアクトクラブ、③RYLA 委員会があり、青少年交換委員会を組み込み、米山記念奨学会も含まれると考えられる。

現在、それぞれの活動に於いて問題点がある。

1)、インターアクトクラブは、学校及び地域社会での課題に取り組み、また奉仕活動を通じて、リーダーシップのスキルを身に付けるための、12歳~18歳の青少年のためのクラブであるが、地区内では20のIACがあり、それぞれ例会をひらいているにもかかわらず、スポンサーロータリアンの参加が一応に少ないか、全く参加しないクラブもあるので、もっと積極的にRCメンバーの参加をお願いしたい。また、年間活動の中で地区が行うものには、年次大会、リーダー研修、国際理解研修があるが、それらに参加できる生徒は、人数が限られ、各校から選ばれた生徒のため、初対面でうまく他校と交流できないのが実情であるので、この点は工夫が必要がある。又、スポンサークラブのロータリアンは、IACを卒業後は、RACへの勧誘を推進してほしい。

2)、ローターアクトクラブは、18歳~30歳の青年が親睦と奉仕活動を通じて、地域社会に於いて専門知識と指導能力を身に付けるためのクラブであるが、RACを提唱したクラブだけのものと思っているクラブが多くあるが、他のクラブからもRAC会員増強に協力して頂きたい。新社会人としてスタートすると、会社内でのつきあいに限られてしまい、異業種交流にはならないため、RACの存在は、地域や他の企業・団体に所属する若者と交流し、人間の幅を広げる人間修練の場としては最適であることが説明する必要がある。現在、地区内RACの構成は、福島中央RACが11名、福島学院大学RACが26名、桜の聖母短大ミリアムRACが42名、テクノアカデミー浜RACが36名、喜多方RACが9名、会津若松南RACが5名、郡山西RACが8名となっている。年間活動としては、会長幹事会をはじめ、スポーツ交流会、アジア第一ゾーン代表者会議、東北4地区合同事業、全国RAC研修会参加、地

区ローターアクト地区年次大会などをおこなっている。RACは、将来の幹部候補生をそだてるのに大いに役立つ。

3)、RYLA (Rotary Youth Leadership Awards) ロータリー青少年指導者養成プログラム)は、35歳までの青少年。社会人を対象とした参加無料の(費用はRACで負担)公開講座で一泊二日で行っているが、参加者が少ないため、参加者を各クラブから1名出してほしい。各クラブで1名16,000円程度の予算化をお願いしたい。RYLAの一番の目的は、リーダーシップを身に付けさせることにある。

地区からの要望で、各クラブでの青少年奉仕委員会の委員の任期は3年にしたい。最新情報として、RACをそのままロータリークラブに出来る規定案が出された模様。

モンゴル旅行銭別の贈呈



国際奉仕委員長よりモンゴル旅行銭別の贈呈がありました

新会員歓迎会



— 理事会情報 — 第4回 H30年9月12日 13:40~ 於サンパレス

1 審議事項

(1) 10月度プログラム承認について 一條浩孝幹事より10月度のプログラムについて説明があり審議の結果、原案通りに承認された。

2 報告事項

- (1) 地区・第1分區、その他の行事について一條浩孝幹事より報告があった。
- (2) 各委員会報告
 - ・伊藤麻一 親睦活動委員会より 新入会員歓迎会の参加人数の報告と二次会の場所について報告があった。
 - ・渡辺雅浩 国際奉仕委員長より モンゴル旅行の参加人数の報告があった。
 - ・安齋紀之 職業奉仕委員長より 例会にゲストスピーチを入れてほしい要望があった。(11月は決定)
 - ・遠見昌喜 会計より ロータリー会費未納者に通知を実施した報告があった。
 - ・横山りつ子 ロータリー情報委員長より 新入会員セミナーの司会、講師の報告があった。
 - ・菅原節子 広報誌委員長より 民友新聞に成蹊高校の奨学金授与の記事掲載
 - 11月14日のゲストスピーチはたまのや社員(ローターアクト)が実施
 - ・高橋勇雄 会場監督より コキアについて平野のサブウェイで引取り可(民友新聞社では引取り無し)
 - ・菅原節子 記念誌委員会委員長より 9月13日、20日事務局で打ち合わせを実施
 - ・菊池和宏 社会奉仕委員長より 猪苗代湖浄化活動の出発場所は南福島保育園駐車場を使用可
 - ・赤間浩一 IT推進委員より マヨリー未登録者24名を登録したい

— 今後のプログラム —

- ・10月3日(水)米山奨学生ゲストスピーチ(ヴァティ・ハーさん)
- ・10月10日(水)米山奨学生ゲストスピーチ(蔡騰輝さん)
- ・10月10日(水)蔡騰輝さんカンセーレスピーチ(久米 允彦 様)

— 地区情報・第一分區・関連情報 —

- ・10月10日(水)防火パレード寄付贈呈式
- ・10月10日(水)第1回バスト会会長会
- ・10月14日(水)第3回福島南RCゴルフコンペ

— 10月3日(水)の例会プログラム —

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 開会点鐘 | 8. 第2回ゴルフコンペ報告 |
| 2. 国歌斉唱 | 9. モンゴル旅行報告 |
| 3. ロータリーソング | 10. 米山梅吉記念館旅行報告 |
| 4. 四つのテスト唱和 | 11. 米山記念奨学生ゲストスピーチ |
| 5. 来訪者紹介と会長挨拶 | 12. 謝礼の贈呈 |
| 6. ロータリーの読みどころ | 13. 各委員会報告 |
| 7. スマイリングBOX報告 | 14. 閉会点鐘 |